

科目名 (科目番号)	公衆衛生 看護活動論Ⅳ (076791)	教員名	麻生保子 鈴木悠圭 長堀智香子	学科等	看護	コース必修	履修年次	3
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
				オフィスアワー		火2限	麻生研究室	
授業概要	①保健福祉に関する法制度・行政運営・政策の現状について学習する。②保健福祉行政の基礎的知識および、地域の健康問題の解決に必要な社会資源の開発や保健福祉サービスを評価し、調整する方法について学習する。③地方公共団体の保健福祉行政施策を計画策定、実行、結果評価サイクルにのせて実施するための方法を学ぶ。④保健福祉行政の推進における、公衆衛生看護の役割を学ぶ。 関係する垂直軸:看護、多職種連携							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	保健医療福祉行政の目指すもの	到達目標:保健医療福祉行政の目指すものと衛生行政の体系について説明できる。 学習内容:地域住民の健康を守るための保健福祉行政の意義について学習する。					
	2	保健福祉行政の仕組み	到達目標:我が国と諸外国の保健医療福祉の特徴について説明できる。 学習目標:国民皆保険制度をはじめとする、わが国の保健福祉行政の利点と課題について、諸外国との比較においてグループで調べ発表し、ディスカッションを行う。					
	3	保健事業の施策化について	到達目標:地域診断に基づく保健福祉施策を実現するための保健師の役割、方法について説明できる。 学習内容:保健活動の事業化、施策化のための計画、実施、評価方法について学習する。					
	4	地域保健福祉計画について	到達目標:地域保健福祉計画策定に必要な情報や方法について説明できる。 学習内容:行政計画と地域保健福祉計画との関連性、保健計画実施のための予算編成・情報公開・アカウンタビリティについて学習する。					
	5							
	6	地域保健福祉計画策定演習	到達目標:地域特性に応じた健康課題の課題解決方法を検討できる。 学習内容:地域診断に基づいた健康課題の設定と、それを解決するための保健福祉計画、事業計画策定演習を行う。					
	7							
8	地域保健福祉計画の評価	到達目標:保健活動の評価について理解し、適切な評価指標を用いることができる。 学習内容:シミュレーションとして策定した地域保健福祉計画・保健事業に評価指標を当てはめ、様々な観点からの評価の実際を経験する。						
成績評価の方法・基準	レポート20%、発表30%(評価表に基づく)、試験50%							
教科書	標準保健師講座 別巻1 保健医療福祉行政論(第4版)		藤内修二他			医学書院		
参考図書	標準保健師講座 3 対象別地域看護活動 (購入済)							
教員からのメッセージ	地域住民の健康を守り、QOLの向上を図るためには、保健医療福祉行政について熟知する必要があります。国内外に起こっている健康に関する事項に関心を持ち、どのようにしたらさらに良い状況を作れるか考える機会としてください。レポートはコメントを付して返却します。							